

様式第3号（第7条関係）

会議録

- 1 附属機関の会議の名称 水戸市国民健康保険運営協議会（書面開催）
※新型コロナウイルスの感染防止を図るため、書面開催とした。
- 2 開催日時 令和3年8月30日（月）から 9月10日（金）まで（意見提出期間）
- 3 開催場所 書面開催
- 4 出席した者の氏名（※書面開催のため意見書の提出をもって出席とみなす）
 - （1）委員 袴塚孝雄，澤則子，園部優，潮田裕子，齊藤盛啓，笹沼慎一，皆川憲弘，原毅，奥田猛，松崎浩成，土田記代美，奥田俊裕，鈴木俊彦，外川善夫
 - （2）執行機関 大曾根明子，小林秀一郎，関根豊，加藤浩，飯村久美，佐藤修司
- 5 議題及び公開・非公開の別
諮問書交付
令和4年度水戸市国民健康保険税について（公開）
報告事項
 - （1）水戸市国民健康保険の状況について（公開）
 - （2）その他（公開）
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数（公開した場合に限る。）
0人（書面開催）
- 8 会議資料の名称
令和3年第2回水戸市国民健康保険運営協議会
- 9 発言の内容
書面により意見を聴取した。以下概要。
 - ・コロナ禍により，経済状況も変わり，国保世帯の変化に影響が出てくるか注視していく必要がある。
 - ・令和2年度の黒字により，積極的な市民負担の軽減を図るべきである。
 - ・令和2年度の特定健診の受診率の低迷については，再検討が必要である。
 - ・保険税の賦課方式の2方式移行に納得した。
 - ・賦課方式を2方式に変更し，簡素化されることで，算定方法や課税内容が分か

りやすくなることはよいことである。

- 賦課方式の3方式から2方式への変更により、単身世帯の負担は多少減る可能性があるが、世帯人数の多い場合は負担増に繋がると見込まれる。子どもが多い世帯ほど税額が高くなるのは、少子化対策に逆行すると思われる。
- ジェネリック医薬品の使用率は国の目標までもう少しであるが、現在、製造の偏りによる供給不足の状況が生じている。